

携帯に好みの書体

ソフトウェア開発のリムコーポレーション

(静岡県浜松市、竹塚直久社長、053・42

8・8288)は年内をめどに携帯電話の利用

者に好みのフォントを提供する事業を始める。

文字を自在に変えられる同社が開発したフォン

トソフトを搭載した携帯電話を持っていれば、

インターネットを通じてフォントをダウンロード

できる仕組み。サービスが使える機種は拡大

をメーカーに働きかけ、今後二、三年で同事業

の売り上げを十億円強にすることを目指す。

携帯電話は通常、点と線を組み合わせる「ビット

マップフォント」で文字の輪郭線を自動

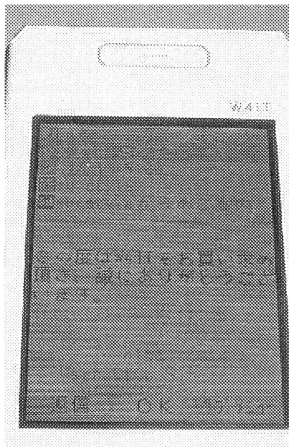
生成する計算式を取り込んだ「スケラブルフォ

ント」と呼ぶソフトを開

発、データ容量を必要と

する。従来の文字しか記憶させず、複数の種類の文字

をダウンロードする



携帯でフォントをダウンロードする

リムコーポレーション

「着うた」方式で

などを表現できるようにした。

ダウンロードフォント

は好みの楽曲を呼び出し

音にする「着うた」と類

似した使い方を想定して

いる。同フォントのシス

テムは現在、東芝のみに

供給している。ただ、東

芝が同フォントソフトを

搭載しているのはauの携帯電話「W41T」「neon」の二機種だけ。

リムではフォントソフト

の導入を他の携帯電話メ

ーカーに働きかけると同

時に、ダウンロードを行

うためのサイトを開設す

る計画。

サイト内では明朝体や

ゴシック体など十種類強のフォントを用意。今後

は芸能人やスポーツ選手

の筆跡などを基にした個

性的なフォントも取りそ

ろえる予定だ。

リムは一九八八年の設

立。フォントの作成のほ

かコンピューターなどが

正常に作業するかを検証

する製品評価事業を手が

ける。東芝やソニーなど

大手電機メーカーとの取

引が多い。